

二 遊藝聯合會
一 目的

合芸案ニ據スル審察ハ先ノ限ニテモ
具村案ニ付トモ中央委員及本指ノ遊藝委員ハ其審察ニ當リテ
モ之ノハ難ニシタトシテ之ノ對案ニ付テモ之ヲ遊藝委員
遊藝委員ニ付テモ之ノハ難ニシタトシテ之ノ對案ニ付テモ
案共ニ自由ニセシテハ入變テモ之ヲ遊藝委員ニ付テモ
志ニ據シテハ蓋然ニ遊藝委員ニ付テモ之ヲ遊藝委員ニ付テモ
據シテモ之ヲ遊藝委員ニ付テモ之ヲ遊藝委員ニ付テモ
會ハ其ノ不利益ニ付テモ之ヲ遊藝委員ニ付テモ之ヲ遊藝委員
遊藝委員ニ付テモ之ヲ遊藝委員ニ付テモ之ヲ遊藝委員ニ付テモ
ハ資本案ノ云テ事ナシトシテ之ノ遊藝委員ニ付テモ之ヲ遊藝委員
ニ付テモ之ヲ遊藝委員ニ付テモ之ヲ遊藝委員ニ付テモ
モ中央委員及遊藝委員ハ據案ニ據シテ之ヲ遊藝委員ニ付テモ

財團法人協調會大阪支所

三 自由届出デ主義ニスルコト

四 一般法規ニヨラズシテ組合ノ決議及ビ一切ノ行動ニ干渉セザルコト

五 治安警察法第十七條ヲ撤廢スルコト

大正八年ノ内務省案ハ労働組合ノ自由ニ發展スルノヲ阻害スルモノデアル、現在治安警察法第十七條ヤ刑法ニ騷擾罪ガアルニモ拘ラズ尙且ツ法案ニ罰則ヲ設ケル事ハ以テノ外ダ地方長官ガ勝手ニ組合ヲ解散サス事ガ出來ルノハ組合ヲ壓迫スルモ甚ダシイト云ハナケレバナラヌ」云々ト提案ヲ説明シタ。
或ル代議員ガ政府ハ今度出ス法案ヲ調べタカトノ質問ニ對シテ平井ハ「加藤主事ガ社會局ヘ行ツテドナ法案ヲ出スカト當局ニ質問シタガ其ノ際當局ハ大体大正八年ノ内務省案ヲ基礎トシタ法案ヲ出スト答ヘタ、其ノ際加藤主事ハ労働法案ニ就テハ政府ハ資本家ニ詰問スルガ何故ニ労働者ニ詰問セナイカト問ヘバ當局ハソ